1　今年度最後のチャンス！！　～各種健（検）診を受けましょう～

〈各種がん検診〉

秋田県のがん死亡率は毎年高い状態です。そのため、にかほ市では１人でも多くの方にがん検診を受けてもらうため、今年度最後のがん検診を下記のとおり実施します。

集団検診を受診できなかった方や申し込んでいなかったけれど受けたい方など、ぜひ受診してください。

◆検診予約方法　受診希望の方は、下記の受付期間中に電話で予約

- **●乳がん検診**：希望の方全員、必ず予約
- **●胃・大腸がん検診**：受診票、採便容器のない方のみ予約
- **●上記以外の検診**：予約不要

◆検診受付期間　10月２日㈫～10日㈬　午前９時～午後５時（平日）

※年齢や性別により受診できない検診もあります。内容や料金については申し込み時にご確認ください。

～がん検診　未来の自分にできること～

【2018年度がん征圧スローガン】

実施期日	会　場	受付時間	受けられる検診の種類
10月13日㈯	スマイル	6:30～　7:30	胃検診・大腸がん検診
		9:30～10:00	乳がん検診（30人限定）
		9:30～10:30	肺・大腸・前立腺検診
10月17日㈬	金浦保健センター	6:30～　7:30	胃検診・大腸がん検診
		12:30～13:00	乳がん検診（30人限定）・子宮がん検診
10月18日㈭	象潟保健センター	6:30～　7:30	胃検診・大腸がん検診
		9:30～10:30	肺・大腸・前立腺検診

問 仁賀保保健センター☎32－3000／金浦保健センター☎38－4200／象潟保健センター☎43－7501

〈特定健診〉

にかほ市国民健康保険加入の40歳以上の方または後期高齢者医療制度に加入している方で、特定健診を受診していない方を対象に、次の日程で特定健診を実施します。定期的に通院している方もしていない方も未受診の方は受診して健康状態を把握しましょう。

◆対象者　４月１日時点で「にかほ市国民健康保険」に加入している今年度40歳以上になる方、または後期高齢者医療制度に加入している方

※今年度中、既に特定健診を受けた方や人間ドック助成金を申請された方は対象になりません。

◆持参物　質問票、受診券、健康保険証

※質問票は事前に記入してきてください。質問票・受診券は４月に送付済みですが、無い場合は市民課か保健センターで再発行します。

実施期日	会　場	受付時間	受けられる健診の種類
10月17日㈬	スマイル	9:30～10:30	特定健診（10月18日㈭午前中は、特定健診と一緒に、肺、大腸、前立腺検診も受けられます。）
		13:00～14:00	
10月18日㈭	象潟保健センター	9:30～10:30	
	金浦保健センター	13:30～14:30	

※特定健診は予約の必要はありません。希望する会場に、直接いらしてください。

問 市民課☎32－3032

2　スポ少・中学校部活動の活動基準について

問 スポ少…スポーツ振興課☎33－8855／部活動…学校教育課☎38－2266

教育委員会では、部活動等を巡るさまざまな問題に対処するために、「にかほ市学校部活動等適正化検討委員会」を開催し、今後のスポ少活動、中学校部活動の在り方について協議しました。その結果、中学校部活動の活動日・時間などの基準を定めることとし、８月１日以降は、この基準に則って練習等の活動が行われます。スポ少の活動については、４月16日に改訂された活動基準に従って活動が行われています。

◆活動日　スポ少では週３日以上、中学校部活動では週２日以上の休養日を設ける。

◆活動時間　１日の活動時間は、平日は２時間程度、休日は３時間程度とする。

◆休日の活動　**スポ少**…第３日曜日を活動休止日とする。大会等がある場合は、第４日曜日に振り替える。土・日に連続して活動した場合は、月曜日を休止日とする。

部活動…第１・３日曜日を活動休止日とする。また、土・日のいずれかを休養日とする。土・日に連続して活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。

市長コラム～創造を想像する～

誇り高き人々

◀オモテ　◀ウラ

■にかほ市の歴史人

写真は私の名刺です。オモテには池田修三氏の版画がプリントされています。８種類あります。多くの女性の方は、この名刺を見ると、「素敵ですね！」とすぐに反応してくれます。もちろん、男性の方でも反応してくれる人はいます。

ウラ面をご覧ください。「にかほ市の歴史人」とあります。皆さんいろいろと意見があるとは思いますが、私の判断で先ずは３名としました。

一番下が、オモテの版画の作者である池田修三氏です。真ん中の人物は、農工一体という理念に基づき、この地域を有数の工業地域へと発展させ、私たちの暮らしに豊かさをもたらしたＴＤＫの創設者・斎藤憲三氏です。ゆえに斎藤憲三氏は、にかほ市にとっての精神的支柱であると言えます。そして、一番上の人物は、南極探検家・白瀬矗氏です。

■歴史人という言葉の意味

ここで、私がウラ面のタイトルを「にかほ市の歴史人」とした経緯を大した話ではありませんが、少しお話したいと思います。どんなタイトルにするかで結構悩みました。最初は、「著名人」にしようか、「偉人」にしようか悩みました。著名人は有名人とほぼ同意です。英語にすると「セレブリティ」になります。ん～、ちょっと違うなと感じました。

では「偉人」は？です。私見ですが、偉人とは「日本で唯一の存在」でなければならないと思っています。確かに、斎藤憲三氏はにかほ市にとって間違いなく偉人です。が、日本全体から見たら著名人というカテゴリーになってしまいます。また、池田修三氏についても、芸術家である彼の作品こそが主体であって、彼の人となりが論評されるものではありません。そう考えたとき、この二人を偉人としてしまうのには多少の仰々しさが残りました。そこで、いちばん違和感がない表現として「歴史人」という言葉を選びました。

■にかほ市の偉人

私は白瀬矗を「偉人」と捉えています。それは、彼が日本人初の南極探検家であり、まさに日本にとってのオンリーワンだからです。このことは、現在の日本の南極観測船名が「しらせ」であることからも窺い知ることができます。

当時、南極点踏破は人類の悲願でもあり、アムンセン隊とスコット隊と白瀬隊が同時期に南極点を目指していました。結果として、白瀬隊の南極点踏破は叶いませんでしたが、誰ひとり命を落とすことなく帰国したことは大いなる成功だったと私は思います。白瀬矗は、にかほ市にとって世界に誇れる郷土の偉人なのです。

市では、白瀬南極探検隊記念館を中心に、白瀬矗とその探検についての調査研究を行っています。国内的には未開の分野ですが、徐々にいろいろな資料が発見されてきています。白瀬矗の功績はにかほ市の財産です。このことを広く知らしめることで、市内外の多くの人がにかほ市に関心を抱くきっかけになると考えています。

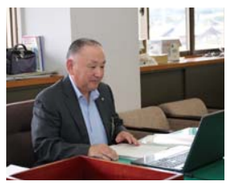
にかほ市長　市川雄次

部長コラム　企画調整部長　佐藤次博

高校生へのアピール

にかほ市も人口の減少が続いています。人口減少は、企業や農林水産業などに、深刻な人手不足をもたらすだけでなく、地域行事の存続にも支障を及ぼします。

こうしたことから市では、若者の定着を図るため、地元に就職した新規学卒者に対しての奨励金支給や、奨学金返還助成制度などを新たに創設しました。さらに、今後も多くの人に「住みたい、住んでみたい」と思ってもらうための「まちづくり」をするとともに、若い世代の人口増に向けた施策も充実しなければなりません。

今春卒業した本市在住の高校新卒者は240人でした。うち就職したのは34％にあたる82人で、そのうち市内への就職者は28人でした。また、大学等に進学した残りの158人は、卒業までに就職先等を決めることになります。

このような就職など大事な将来を決める時に「にかほの良さ、暮らしやすさ」を感じてもらう、あるいは思い出してもらうために、高校生に対し行政は積極的なアピールができていたのか、いまは市の情報を伝える工夫がもっと必要と感じています。